

主 記 事

新学長挨拶……………	1
ばら談義……………	2
卒論抄録……………	3

千 曲 會 報

昭和33年9月1日発行

長野県上田市常入

信州大学繊維学部内

編集兼発行人 小 山 長 雄

信州大学繊維学部内

発 行 所 社団法人 千曲会

昭和31年6月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部15円

御 挨 拶

— 繊維学部を去るにあたって —

伊 藤 武 男

リュックサックを背負った恰好*
出されて、上田駅のホームに降りた
たと記憶します。爾来あしかけ13
革に伴う色々な変化がわが学園にも
て、学園の長の重責を荷って来たわ
ず、洵に慚愧の至りに存じます。強
風の興隆には終始誠意を尽して、心
思い起して、せめて自ら慰める次第
過ぎて来られたのはひとえに学園
りまして感謝にたえず、深く感銘し



新学長 伊 藤 武 男 氏

*で、ひどく込みあった列車から吐き
ったのは終戦の年の11月24日であっ
年、その間には国の教育制度の変
起伏したことです。これに対処し
けですが、これという業績も挙げ
いて申せば、この学園の研究的な気
ある人々と共に努力して来たことを
です。ともあれ、今日まで大過なく
内外の御支援御厚情によるものであ
ている処であります。

今回、前佐藤学長の急逝に遭いま
長 重責を委託されることになりました。周知のように、信州大学は6学部が各地に散在する総合大学でありま
して、創立後已に10年を関するのでありますが、いまだに一般教育統合の問題、学部の在り方、学部学科の増設
充実、教育施設の拡充、更新等早急の解決を待っている幾多の難問題を抱えているのであります。これをバラン
スのとれた、特色のある良き地方大学に仕立てあげてゆくのは容易ならぬことでありまして、浅学非才の私の如
きが能くその重責に耐え得るか、甚だ危懼するものでありますが、各方面の御指導、御協力の下に微力を尽して
責を果たすべく念願致しおる次第であります。

ここに、私は13年在職の繊維学部——親しみ多く、思い出多き繊維学部——を去っていきますが、これで縁が
切れたわけではありませんので、今後も繊維学部発展のためにも微力を捧げたいと存じますから何卒よろしくお
願い申します。

ば ら 談 義

萩 原 清 治

近頃のばら愛好熱は燎原の火のようにひろがってきて、土田にも今年ばら愛好者の会が生れ、私も会員に入れていただいた。私のばら作りは全くの趣味で経歴は十数年である。若い頃遠藤保太郎先生に教わって朝顔、菊を作り、万年青もやったが、ばらを知ってからは皆引抜いて捨ててしまい、戦争末期に応召になったので鉢物は全部枯れてしまい、露地のばらだけが残った。このころから病みつきとなり、手をかければかける程、ばらの素晴らしさに魅せられるようになった。ばらを愛好する利点は三得も五得もある。草花のうちでばらくらい人々の心を満足して呉れるものはない。花の色、形、香りはいわずもがな、木の姿、葉の形、色、とげの色(冬季、春の芽出しの頃)形などすべて間然するところのない程に人々の心をとらえてしまうのである。このような気持は現代人許りでなく、人類創生の始めからばらは全ての花の王(女王)として愛好されてきたらしい。ここでは上古時代からばらが世界の何処でも幾何に大勢の人々に愛好されて来たかを記してばらの素晴らしさをたたえて見たい。

× × ×

ばらがこの世にはじめて生れたのは7000万年前と云われ、人類の歴史がわずかに数千年であるのにくらべるとばらの起源は想像を絶した古いものであることがわかる。そして人間の歴史の到るところにばらのエピソードやロマンスが伴っている。美の女神ヴィーナスの恋人アドニスが野猪に突き殺された時、彼の死を悲しんだ彼女の流した涙が赤いばらの花にかわつたと云う神話から始まって歴史のどのページにもばらの高麗な香りがただよっているのである。

ギリシャのばら

ギリシャの初期にはばらは花の王と云われたがBC600頃女詩人サッフォーのよんだ「ばら讃歌」に

“もしも神々の王であるジョーヴが花々の女王をえらぶとしたら花々の女王の座につくのはばらであろう”
とあり、この詩によってばらはMからWに転換したわけである。

この時代からばらは女性の美の代名詞とされた。そしてアナクレオン(BC550)は

“恋の花なるばらの花
愛の花なるばらの花
花のあるじのばらの花”

とか「私はばらの香をかきながら死にたい」と讃えている。

エジプトのばら

エジプトでも紀元前1300年頃、すでにさかんに愛培され当時のミイラからは多くのばらが発見されており、ブトレメ五朝(BC300)に作られた壁画や織物にはばらの花がたくさんつかわれている。ブトレマイオス家最後の女王であり女性の美の代表としてあこがれの的にもなっていたクレオパトラ(BC70)は特にばら进行、アントニウスを始めて迎えるにあたり、宮殿全体をばらで敷きつめ、廊下には18吋の厚さにばらをまいておいた。アントニウスはあまりの豪華さに

驚き、且よろこんだ。またアクティウムの海戦に敗れて兩人はエジプトに逃げ帰り、クレオパトラは蛇に乳房をかませて死んだが、アントニウスは自分の死に当って「自分の墓はばらで蔽ってくれ」と遺言したと云う。1956年ドイツの作家ホルデスは Kleopatra と云う彼女の美貌を讃える美しく派手な花の品種をつくり出し、彼女の美を想起させている。

ローマのばら

当時「ばらの中に伏す」「ばらの中で飲む」「ばらの中で暮す」と云う言葉がつかわれたがこの時代のばらブームを想わせるものである。暴王ネロ(紀元50~64)は泉にはばら油をみだし、地上にはばらの花卉を散らし、客の坐るクッションの上にもばらをおき、ブドウ酒の中にも、風呂の中にもばらを入れてもちいたと云う程に愛好していたようである。

中世のばら

この時代は有名なばら戦争から始まる(1455~85)。この戦も赤いばらのランカスター家のヘンリー・チュードル王子と、白いばらのヨーク家のエリザベス姫との恋愛結婚で幕を閉じたが以来チュードルローズ(赤・白ばら)は英国々花となつていたのである。1928年ドビーが作出した裏白、表ピンクの美しく香り高い品種、Elizabeth of York はこれを象徴したものである。フランスに渡るとナポレオン初代の皇妃ジョセフィーヌの名が浮んで来る。彼女は欧州にあるすべての品種をマルメイズンの庭に集め、フランスばら界の隆盛のもとをつくった。一説には彼女のばら集めは実用をかねたと云う、と云うのは彼女は美人だが歯が悪いのでこれをかくすため常に美しいばらを口にあてていたと云うのである。ばらの品種も1800年迄は100種ぐらいであったのが彼女の時代には250種となり、1850年にはすでに4000種が作出された。因に米国版「Modern Roses」によると1940年には4833種、1952年には6150種、現在では7000種以上と云われている。このおびただしい品種を見ても如何にばらが人々の心をとらえ素晴らしい花であるかがわかる。

× × ×

最近、ばら界の長い間の念願であった「Blue Rose」がフランスの作家モーリス・コンプ氏により立派に作り出され、Mobe No.2 (仮名目下名前を考慮中とか)と名づけられ、日本でも伊丹市の寺西氏が本年立派な香り高い青い色の花を咲かせたとか。これでばらの色には不可能と云う語はなくなったことになった。上田ではばら愛好の会が生れた許りだが今後益々盛んになって来ることであろう。日頃は各職場がちがいが、階級がちがうと何れも四角張って話もろくにしないのであるが、この高雅優美なばらの花をつくっている同人達がこのばらの花を介して全く棒をぬぎ去って語り合うことが出来ればどんなに楽しいことであろう。また趣味の会はそうありたいものだ。このような姿こそほんとうに世の平和な姿であり、大にしては目下危機をはらんでいる世界の政局の話し合いもこのような雰囲気の中に行われれば争いや敵視もなくなるのではあるまいか。(以下3頁へつづく)

— 第6回卒業生 —

卒業論文抄録

ニンヒドリン反応による絹フィブロ
イン中の遊離アミノ基の定量

——溶媒(滲透剤)の種類と反応時間の影響——

繊維化学科, 天然繊維化学教室 小日向 嘉 道

繊維形態を保ったままのフィブロイン中の遊離アミノ基を定量することが出来れば絹繊維の性質を知るために便利であるので、繊維状フィブロインにニンヒドリンによる呈色反応をさせ、反応色素を50%のメタノールにて抽出し光電比色計により比色定量する方法を試みた。試料のフィブロインは繭層を石けんと炭酸ソーダを用い常法により練ったものを用い、ニンヒドリンはビリジン、エタノール、メタノール、水などに溶解し夫々0.3%の溶液を作った。反応時のpHを5に保つために2M酢酸緩衝液を作り、試料30mgにつき、前記ニンヒドリン液各々2cc, 酢酸緩衝液0.2cc, これに水を2, 3, 4, 5ccと別々に加え沸騰水中で20分間反応させ、反応後取り出し50%メタノールにより抽出し、抽出液をロイシンの曲線に合せ比色定量した。但し上記の操作は1回では反応抽出が終らないので同様の操作を色が出なくなるまで反復行なった。その結果ビリジン、メタノール、エタノール、水の順に反応が容易であり、水の量は2ccが最も適していることがわかった。反応時間は長い程反応も進むように思われるが、20分以上行っても実験操作に時間がかかり意味がなくなるのでそれ以上は行わなかった。

殺菌灯ランプ(主波長2537Å)を練絹に照射し $-\text{NH}_2$ 量の変化を見たところ10時間照射の時点で $-\text{NH}_2$ は飛躍的に増加し35~60時間まで少量ずつ増加し以後はかえって減少する。なお強力、伸度は10~20時間照射のあたりでその減少率は最大を示した。

曲げ糸の曲率半径について

紡織学科 大 滝 忠 長
林 郁 男

我々の衣服は日常折り曲げられることが多い。その曲げに

(2頁よりつづく)

1936年F・メイランによって作出され、母の名をたたえて名づけられた世紀の名花、マダム・アントワヌ・メイランに、これを買った米国の愛培家パイルが改名した“Peace”の名にふさわしい姿ではあるまいか。パイルは自国に持ち帰った名花にもっともよい名(米国名)をつけようと苦心していた際、折りから部屋のラジオが「ベルリン陥落をつたえた。」パイルはその瞬間にPeaceの名を決めたのである。

よる歪の残った状態がしわといわれる訳であるが、織物のしわを取上げる前に構成因子の糸、繊維についての折り曲げを研究する事は織物のしわについての概念をつかむのに必要なことである。

糸の曲げについては、最近粘弾性的に研究がなされるようになったが、従来のものは単繊維についてであり、糸の場合は単繊維の撚られた集合体であるので今迄の粘弾性論をそのまま進める事は疑問であり、さらに単繊維自体について180°完全に折り曲げるときは屈曲現象を起し、曲げ面はそら豆状になり弾性領域を越えて理論解析が困難となる。糸を曲げると単繊維同志の摩擦が非常に重要な要素である。これについては糸の長さ方向に変化するため省略されて来たが、撚糸の曲げの場合に、曲率半径と曲げ荷重の間には、理論的弾性率、剛性率をk倍すると実験値とよく一致する事が確められ、このkについて撚糸を作る際の弾性率などの低下および摩擦力の影響について考察した。これらの摩擦力がkにどのように影響するか本質的に求められなかったが、単繊維の場合には $k=1$ 、撚糸の場合には $k=0.3\sim0.5$ をとることがわかった。

金属性線糸小枠の強度研究

製糸学科柳沢研究室 宮 田 美喜雄
熊 谷 良 一

金属製線糸小枠は戦後非常に普及し、木製に置き換えられた感さえある。工場、研究所等で使用されているもので、部分により破損が甚だしい所もあるので、其の取扱い条件に従って自由落下衝撃試験を行ってその破損状況を検べた。先づ試料として次の3種を各2個宛用意した。

- (1) 生糸を巻いてない小枠
- (2) 線糸し終ったままの小枠
- (3) 線糸し終って生糸が乾燥した後の小枠

小枠を枠立の軸に添って72cmの高さより反復落下せしめ、破損するまでの回数を求めた。枠立の下部にスプリングがあり、衝撃力の緩和をはかっている。スプリングが作用してから的小枠の運動式は次のようである。

1945年4月29日、サンフランシスコで開かれた国連の創立総会の各国代表の個室には「ピースと云うこのばらが人間の心に永遠に続く平和の心を植えつけるように祈る」と記した札とともに名花ピースがいけられていたと云う、ほんとうに心暖まる情景ではあるまいか。

ばらをつくっている人々の心には誰にでもこのような平和を祈る気持がみちているのではあるまいか。次回は東洋のばら、日本のばらについて書いて見たい。

$\frac{w}{g} \frac{d^2 y}{dt^2} = w - ky$ 但し w は小棒全体の重さ、 y はスプリングが無荷重の時の上端を原点として縮んだ距離、 k はスプリング定数である。

以上3種類の破損落下回数は平均 (1) 3,400 (2) 480 (3) 12,000 で非常に大きな差を生じた。この原因について考えると小棒リブの最大応力は(2)の場合最大であり、疲労限界点に早く達したため、(1)、(2)は共に軽い、衝撃時(3)は小棒リブの小振動を緊張した生糸が防止しているためと考えられる(註・小棒はA工場製のもののみであり、設計の巧拙は破損に大きな影響のあることは勿論である)。

光電管使用による織度感知の一工夫

製糸学科柳沢研究室 田 部 久
山 辺 祐 一

従来フィロメーターによる織度感知の方法があるが、繊維の断面は必ずしも円形でないので、光を一方から繰糸中の繊維に照射しその光電効果を利用して織度を感知したのでは、相当の誤差は免れないし、再現性は覚束ない。そこで進行中の繊維の直角2方向から光を照射し電流に変え増巾器により拡大自記せしめるようにした。この記録を検すると糸斑は非常に鋭敏にこれを自記することがわかり、再現性も期待出来るまでに至った。しかし記録中電圧の変化が激しいので、織度の絶対値を求めることが出来ない。この欠点を除くため先ず電源電圧安定器の試作挿入を工夫したが未だ希望条件を満足し得なかった。

尚種々抵抗線に生ずる熱の放散をはかる工夫や、熱平衡をはかる工夫を試みたが完成の域に達することが出来なかった。今後試みる点は直流増巾器を交流のそれに換えること、真空管の特性的吟味等である。

繊維の比重に関する研究

製糸学科萩原研究室 池 田 勉

繊維のように多孔性の物質は測定方法によって比重がちがって来る。現在吾々が繊維の比重として用いている値には厳密の意味では測定条件を明示しなければその値を信頼することは出来ない。私は羊毛、絹、木綿、黄麻、ペンベルグ、アセテート、ナイロンを材料にとり、分子長の異なる正アルコール5種を用いて真空度60mm水銀柱差の装置で比重、ミセル間隙を求めた。その結果次の通りである。

① メチールアルコールを100とした場合、流動パラフィンまでの変差は、最大12.7% (ナイロン) 最小2.8% (木綿) となり、極端に大きいナイロンを除くと変差の平均値5%内外であった。

② ミセル間隙の大きさはそれぞれの繊維によって異なり、分子長の短い液を用いて測った場合、液の浸入量は多くミセル間隙は大きく現われる。また液の浸入し得ない間隙は上とは逆に分子長が長い程大きい。その変化の状態は本実

験では羊毛が最大で、ナイロンが最小であった。

③ 以上の実験値は繊維加工の場合、薬品の分子長及び型態によって繊維内に浸入する量がちがうことを示すもので物理的作用のみから考えた加工上の基礎的な根拠の一性質を明らかにしたことになる。

④ 以上の実験から浸液法による比重測定には次の注意が望ましいことを知った。

- ㊤ 分子長の小さい物質
- ㊦ 膨潤性、収斂性の小さい液
- ㊧ 滲透性の大きい液

家蚕の瘤における真皮細胞の増殖過程

遺伝学研究室 柳 沢 俊 男

家蚕におけるk遺伝子の作用による瘤の隆起は瘤体原基部の真皮細胞が過剰分裂をする為であるといわれている(戸野, 1940)。また、壮蚕期幼虫における真皮細胞の増殖過程については現在のところ不明である。そこで著者は瘤の真皮細胞の増殖する眠期(特に4眠中)を中心として瘤部の真皮細胞の状態を組織細胞学的に詳細に観察した。

各齢食桑中の瘤部の真皮細胞の核は休止核の状態にあって普通の真皮細胞と変わらなかったが、眠中(4眠中)においては核内のクロマチンが集合して1~2個の集合体となり逐次2つに分離して2核となる。それと同時に細胞も縦に2分して2個の新細胞が形成される。この際、紡錘糸の形成は認められなかった。このような核の分裂は明らかに有糸分裂とは異なり無糸分裂であると考えられる。家蚕以外の昆虫における脂肪組織等及び家蚕のある組織においては無糸分裂をするものがあるが、活発に増殖する瘤部の真皮細胞もこのような機構で増殖するものと思われる。また正常(瘤でない部位)の真皮細胞の増殖過程については明らかでないが、瘤部位の真皮細胞の増殖過程から正常の真皮細胞の増殖についてもある程度の示唆がえられた。

ポリエステル系繊維への分散染料の拡散について

繊維化学科会田研究室 桑 原 滋

繊維はポリエチレン・テフタレートである帝国人絹会社製「テトロン」であって、2dの未燃、延伸糸である。

染料は三菱化成会社製の
Diacelliton Fast Blue B
Diacelliton Red R

である。

80±0.5°Cにおいて普通染色及びキャリアー染色を行った。染料吸着量は、ジオキサンによって染料を溶出して比色定量した。

Hillの式によって求めた拡散恒数は、Blue及びRedについて染色時間1時間においては次の通りである。

1,034(普通染色)、0.597(キャリアー染色)及び1,082(普通染色)、0.673(キャリアー染色)である。



稲石佐一兄の

「山崎賞」授賞を讃う

静岡 戸倉八峰

人の功績を顕彰する行事は平和国家に於て非常に心地の良いものである。

それだから昨年32年春の静岡支会の会員通信の拙文の一節に何でも一風変わった功績者を支部又は本部が推薦して本部から一枚の表彰状を出す企画を作る様申入たがそのままで今日に至っている——残念。

さて愛知県の生んだ「農業の父」山崎延吉翁の教えと徳を末長く後世に伝えるため農業功労者に賜る「山崎賞」の第3回顕彰式がこの程山崎翁の命日を卜して挙行されたと新聞は報じている。



稲石佐一氏

この5人の中に稲石佐一兄が農業教育関係者として表彰を受けているのは近來の愉快事である。ここに敢て拙文を綴って同兄に敬意と祝意を表する次第である。

言う迄もなく、御承知の通り稲石兄は第3回卒業で半生と云うか停年迄と云うか兎に角長年農業教育に身を投じて村夫子然とした風格と衆望を負って山農村に30年1日の如く教鞭を採った人で今回の表彰は他の産業界などの藍綬褒章に匹敵する榮譽と謂うべく、誠に以って慶賀に堪えない。

同兄は思う所あってか、退職後は亦変った角度から金融業の一端をと志し、岡崎信用金庫の別格支配人(店内案内係兼監視役)を買って出て目下唯々諸々として従事して居る奇徳者で吾々怠け者は指導と教養を受くべき人格者である。

少し悪口を叩けば倭りし、不美男子的な風采だと言って叱られるなら、極く小ジジマリズム小男で、この様な人種は汽車電車などで混雑中へは、割込み乗車率

100%の重宝男と謂うべく徳な存在とも言える。

比較論ならK. 須田大兄とサモ似たり型。

稲石佐一氏略歴

稲石氏は上田蚕専養蚕科を卒業後、半田農学校教諭、作手農林学校校長兼作手村立青年学校校長、作手村立第一中学校校長を歴任23年4月退職した。大正15年作手村立農林学校校長に就任した当時、14町歩の学校演習林地の植林を完成して、村民に植林思想を植えつけると共に、教育財源に貢献した。また不毛の地80町歩を開拓して農地にし、広大なハゲ山に植林を奨励、クリの栽培に力を入れた。山村振興と子弟教育に20余年をつくしたため、土地の人たちは慈父のように慕い教え子と共に現在の住宅を贈ってその功績にむくいた。

カーテンの刺繡

並 木 宏

その娘の部屋には、朱色や黄金色などの刺繡糸で葉鶏頭の花模様を綺麗に縫いつつたカーテンがさがって居た。

机や鏡台などがこまごまと整頓された寮の四畳半の部屋に、飾りらしいものはそのカーテンだけである。昼間は工場で一生懸命糸を紡ぎ、寮へ帰ってそのカーテンに触れてみる事、そして時折は又新しく刺繡糸で花を縫い増してゆく事が、娘にとっては何よりも楽しいひと刻だった。

カーテンの刺繡——それは娘が考えた貯金法である。紡績工場で働いて居るその娘は、月々の給料の内、故郷の家へ仕送りした残りの少しずつ貯め、千円預金する度に葉鶏頭を一つ宛刺繡するのである。つまり縫い出された花模様一ケは千円札一枚に値した。娘は工場へ入った時からそれを続けて居る。カーテンには既に数多くの葉鶏頭が色鮮やかに咲き競って居た。自分が結婚する時はせめて親の心配をかけずに嫁入仕度しよう。洋箆箆に和箆箆、それに一杯衣類をつめて、それからミシン位は……娘はそんな日を愉しく夢みた。

「あんた、綺麗に刺繡すること、！」

「段々数がふえて来るわね、幾つこしらせるの？、素敵ね。」

寮の友達がそのカーテンをほめる時、

娘は

「駄目なのよ、下手で……。」

と消え入るばかりにほほえむのだった。けれどそのほかにかみの裡に娘は、(此の花一つ一つが千円宛に見えるかしら)という秘かな誇りを感じて居た。職場で同僚達が男友達や恋人の話などに花を咲かせて居る時、娘はいつも話題の外に在って、ふと淋しさを感じる事もあったが、結婚の相手は両親の意見に従うのが一番良いのだからという考えは変らなかつた。そして自分だけの夢をせせとカーテンに縫いつづけて居た。

そんな或日。その娘の母親が突然脳溢血で倒れた。(何もして上げられない裡に、或は此のまま……)茫然とカーテンを見やる娘の手に、ハハキトクの電報が小刻みに震えて居た。

故郷の家へ馳けつけた時は、千代もと願う娘の祈りもかなわず、母は既に此の世の人ではなかった。農業を営む故郷の家は貧しい。娘は自分の預金を生前に活用したなら、もっともっと飲んで貰える事もあつたらうにと悔いた。貧しい乍らも母という、一家の安らかな支えを失って為す事を知らぬ二人の弟そして年長いた父親を指図して、葬式万端に悲しさを思う暇もなく立働く娘の姿が、集った人々の眼に痛々しかった。娘はその費用の為に、借し気もなく預金を使費した。

数日はまたたく間に過ぎた。

白木の香りも新しい位牌の前にやっと落ち着いた時、初めて娘は寮の部屋のカーテンを想い出した。——今は空しい葉鶏頭の花。そして刺繡に寄せた愉しみと共に失った母——娘は全く精神のはりを失ったかの様だった。

明日は再び工場へ働きに戻るという晩、父は一葉の写真や筆筒の引出から出して娘に云った。

「お前がこんな事で帰って来た時に云うも何だけど、前々からの話でもあったのでな……」

という前置きで告げたのは娘の縁談であった。聞けば、写真の人は近在に名の有る肥料問屋の総領息子で、先年地方の大学を卒業し現在店の仕事に励んで居るそう。そして、若し嫁に来てくれるなら娘の実家にも、いろいろな形で援助もし、力にもなれるだろうと言って来て居るそう。

「母さんも此の話にや、勿体ない位やとえらい乗気だったし、まあお前さえそ

(6頁下段へ続く)

(化九回卒日本染色勤務)

母校だより

第3代信州大学長に

伊藤武男繊維学部長が就任

前学長佐藤武雄氏の死去によって後任学長選挙は信州大学学長選挙規則によって7月31日行われ、即日開票の結果、伊藤本学部長が当選した。信州大学では同日協議会をひらき、伊藤氏の当選を確認した。

同日の選挙は6学部7投票所で参考候補伊藤武男、岡正雄、星子直行、八木誠政の4氏について有権者295人の単記投票がおこなわれたが、伊藤氏は投票総数260票の過半数を獲得した。こんどの学長選挙は各学部で推せんした予選候補者9人について第1次投票を行って、4人を参考候補に選んだものであった。

伊藤新学長は一高から大正7年東大農学部農薬化学科卒。昭和1～3年ドイツ留学。7年京都繊維専門学校教授。20年上田繊維専門学校長をへて24年信州大学繊維学部教授となつて、いらい本学部長4期をつとめ、佐藤前学長の死去にともない学長事務取扱となった。農博、山口県出身、64才である。

なお閣議にはかられて8月中旬までには発令されるみこみである。

後任学部長選挙は8月20日に行われる予定である。

日本学術会議公開講演会

於信州大学繊維学部講堂 日本学術会議第6部会 共催
信州大学繊維学部

9月7日午前の部(9—12時)

開会の辞 日本学術会議第6部部長
東京大学名誉教授 浅見 与七

酪農の諸問題 日本学術会議会員
名古屋大学教授 斉藤 道雄

新しい農業について 日本学術会議会員
京都大学教授 井上 吉之

9月7日午後の部(13—16時)

農業経営の焦点 日本学術会議会員
東京大学教授 近藤 康男

蚕糸業の現状と将来の見通し

日本製糸協会 事務局長 三谷 勝
閉会の辞 信州大学長 伊藤 武男

学内職員レクリエーション

信大内学部対抗職員レクリエーションは8月9日、10日の2日間にわたって松本市文理学部において、北関東地区大学職員レクリエーションの予選をかねて行われる予定である。競技種目は、野球・庭球・卓球・排球・バドミントンの5種目である。

科学研究教室

高等学校・中学校・小学校教員の再教育と科学教育研究心昇場のために開設されている信州大学科学教育研究室は本年度第2期が8月1日にはじめられた。

第1期を含めての入室者は8頁に示す通りである。

逝去された前信大学長

佐藤武雄博士



既報の通り前信州大学学長佐藤武雄博士は7月1日午前10時20分松本市蟻ヶ崎の学長官舎で慢性骨髄白血病のために62才の生涯を閉じられた。

佐藤前学長は長野県小県郡長門町の出身で大正11年東京帝大医学部を卒業、昭和4年京城帝大教授、医学部長となり、終戦後松本医専講師、松本医科大学教授、つづいて信大医学部長となり、29年9月15日第2代信大大学長に就任し、名古屋大学教授も兼ねていた。

法医学、血液学の権威として知られ(千曲会報No. 61参考)、法医学研究のため、ドイツ、フランス、イタリア、米国にも留学した。

また一面には、ほととぎす派の同人として虚子の門下に入り、俳名を眉峯と号して、「ほたる火」の著書がある。

俳句をつくること、釣に行くことは最も大きな趣味であつて時々パチンコ店にも姿を現わしたそうである。

葬儀は信州大学葬によって7月9日午後1時より松本市全久院でしめやかに行われた。

葬儀は葬儀委員長伊藤武男氏の祭文のあと文部大臣代理蒲生大学学術庶務課長、林県知事、降旗松本市長、国立大学学長代表、勝沼名大学長らの弔辞があり、万喜夫人ら遺族、信大各学部長ら参列者の焼香が行なわれた。また、高浜虚子、星野立子、佐藤春夫、高野素十、石井柏亭らの弔句の朗読があった。

なお、天皇陛下からお供物料を下され、従三位勲二等を贈られた。

学問の螢火に身を焼き尽し 虚子
夏山に妻に抱かれ帰る人 素十

学外実習

母校3年生、4年生の一部及び別科生徒全員は学外実習に12月1日から約1ヶ月間の予定で全国の関係会社、工場、試験場、研究所等にそれぞれでかけた。

信州大学科学教育研究室入室状況

氏 名	勤 務 校	入 室 の 研 究 室
依 田 穂 積	上田北小学校	哲学
尾 崎 行 也	臼田高校	樹脂合成化学及び同実験
太 田 五 六	上小教育事務所	植物生理学及び同実験
山 崎 製 綏 恵	坂城中学	"
北 条 慎 一	中津川高校	"
関 二 三 雄	上田城下小学	農業気象学
木 藤 沢 市	下高井農林高	畜産学
平 林 潔	和田中学	英語及び英文学
西 沢 芳 智	小県東部高校	実験遺伝学及び生理遺伝学
高 橋 秀 雄	須坂園芸高校	"
寺 田 良	松代高校	"
市 川 正 志	小諸東中学	昆虫生理学及び生態学同実験
広 瀬 幸 男	通明中学	"
清 水 明	長野南部中学	"
宮 沢 文 一	通明中学	分析化学・土壤肥科学同実験
中 沢 武	保科中学	微生物学・植物病理学及び同実験
田 中 製 綏 平	篠ノ井高校	"
窪 田 衛 二	丸子実校	"
田 中 康 夫	南部中学	物理学同実験
中 沢 真 夫	高瀬中学	"
関 口 直 度	岩村田高校	数学・液体論・高分子物理学
小 林 英 夫	小諸高校	"
山 浦 俊 美	小県東部高校	"
久 保 孝	上田二中学	"
		西川竹彦
		北条舒正
		田口亮平
		"
		"
		"
		武田 晃
		中村六男
		長島栄一
		"
		"
		八木誠政
		"
		"
		矢本 博
		松尾卓見
		"
		"
		天白一馬
		"
		佐藤良泰
		"
		"
		"

支会・長並支会事務所一覧表

支会名	区 域	支会長名及勤務先(又は住所)	支会事務責任者及事務所
北海道	北海道	池田正五郎(蚕11) 札幌市北三条 北海道庁経済部農務課	勝野貞哉(蚕35) 札幌市北八条 北海道大学農学部養蚕学教室
北 奥	青森 岩手 秋田	和 田 敦(蚕18) 盛岡市 岩手県庁蚕糸課	同 左
宮 城	宮城	向井 政弥(蚕10) 仙台市東6番丁46	山本友之丞(蚕15) 仙台市北田町51
山 形	山形	栗 原 章(蚕5) 山形市旅籠町563 山形九十商店	同 左
福 島	福島	藤井富美男(紡8) 群山市外富久山町 日東紡富久山工場	竹内万二郎(糸16) 福島市本町17福ビル内 福島県製糸協会
茨 城	茨城	舟後 勇平(蚕6) 水戸市千波町舟付	生天目久平(蚕25) 水戸市木ノ折町 水戸農業高校養蚕事務室
栃 木	栃木	高橋 記一(蚕8) 宇都宮市操町1の27	芳谷 富雄(蚕24) 宇都宮市 栃木県庁蚕糸課
群 馬	群馬	小 山 清(糸11) 前橋市東町22 交水製糸KK	
埼 玉	埼玉	武田 一好(蚕19) 大里郡大里村 大里村役場	町田 正直(蚕14) 秩父市大宮 秩父蚕業KK
東 京	千葉 東京 山梨	鈴木 教吾(糸8) 練馬区向山町1,606	小泉 辰雄(糸24) 千代田区霞ヶ関 農林省蚕糸局糸政課
神奈川	神奈川	石原 六郎(糸11) 横浜市中区山下町207 ニブコウコーポルト インコーポレーション	中 木 武(糸17) 横浜市中区北仲通 横浜生糸検査所
越 佐	新潟	秋山 利夫(蚕24) 新潟市新津町善通	

北 陸	富山、石川	新野 武雄 (糸21)	金沢市高岡町 石川県生糸検査所	中村 新次 (学糸2)	金沢市高岡町 石川県生糸検査所
福 井	福井	高品喜一郎 (紡4)	鯖江市片町	原口惣一郎 (糸25)	福井市有楽町 福井県繭検定所
北佐久	北佐久 小諸	山崎 保太 (糸19)	小諸市赤坂		
南佐久	南佐久	野沢司馬作 (蚕13)	南佐久郡野沢町 野沢郵便局	同 左	
上 小	小県 上田	和 田 晋 (糸12)	上田市鎌原町	岩田 正人 (蚕32)	上田市 上小地方事務所蚕糸課
更 埴	埴科 更級	茂原 重雄 (糸17)	埴科郡松代町 原松代製糸	中村浩三郎 (紡10)	埴科郡松代町 原松代製糸
北 信	長水 須高 中高 飯水	荒 井 猛 (糸12)	長野市妻科 347	広 瀬 洋 (蚕32)	長野市県町 長野県庁蚕糸課
安 筑	松筑 北安 南安 西筑	鈴木 玄九 (糸18)	松本市島の内 鐘紡松本工場	東 哲 夫 (蚕37)	松本市旭町 長野県蚕業試験場松本支場
諏 訪	諏訪 岡谷	小松 忠幸 (糸25)	岡谷市川岸 小松組製糸場	同 左	
龍 川	上伊 下伊 伊那 飯田	石塚浪之助 ()	下伊那郡松尾村清水	羽生 英尚 (糸30)	下伊那郡高森町478 天竜社市田工場
岐 阜	岐阜	8 月下旬決定予定		同 左	
静 岡	静岡	戸倉惣兵衛 (蚕2)	袋井市袋井駅前		
東 海	愛知	香掛 久雄 (蚕19)	春日井市上田薬町 鐘紡蚕業試験場		
三 重	三重	白 井 武 (紡6)	津市下部町448の4 三重農林建設KK		
近 畿	滋賀 京都の大部 大阪 奈良 和歌山	近く決定の予定		同 左	
兵 庫	兵庫の大部分	大塚 重蔵 (糸8)	神戸市葦合区浜辺通8 農林省神戸生糸検査所	岸本 礼々 (紡24)	神戸市葦合区浜辺通8 農林省神戸生糸検査所
三 丹	京都の一部 兵庫 の一部	馬場 長市 (糸16)	京都府綾部市吉野 郡是本工場	目崎 正夫 (蚕28)	京都府綾部市吉野 郡製糸蚕種部
鳥 取	鳥取	上 山 巖 (蚕2)	鳥取市湖山町		
島 根	島根	黒 岩 覚 (糸9)	松江市石橋町333	同 左	
山 陽	岡山 広島 山口	江野村一雄 (紡7)	岡山県倉敷市向市場町 倉敷レーヨンKK内 山陽技術権興会	同 左	
四 国	徳島 高知	宇根山哲夫 (糸17)	徳島県麻壇郡鴨島町 徳島県繭検定所	矢島 卓也 (学糸1)	徳島県麻壇郡鴨島町 徳島県繭検定所
愛 媛	愛媛	内 川 勇 (蚕13)	松山市御幸町 愛媛大学教育学部生物 学教室	工藤 見吉 (蚕17)	大洲市 愛媛県蚕業試験場
香 川	香川	緒方善之助 (蚕8)	香川県安原村下400		
北九州	福岡 佐賀 長崎 大分	小山 祖光 (糸16)	福岡県筑紫郡大野町 福岡県蚕業指導所	熊谷省次郎 (糸38)	福岡市天神町 福岡県庁農務課
熊 本	熊本	深 迫 明 (蚕)	熊本市行幸町 熊本県庁蚕糸課	林田 義雄 (糸22)	熊本市行幸町 熊本県庁蚕糸課
宮 崎	宮崎	中 島 茂 (蚕11)	宮崎市 宮崎大学農学部	同 左	
鹿児島	鹿児島	中山 吉二 (蚕12)	指宿市 九州大学農学部附属試 験地	同 左	

新学部長に林貞三教授

佐藤武男前学部長の信州大学学長の就任にともない空席になっていた本学部長の後任については、8月20日10時より選挙が行われ、林貞三教授が当選した。林教授は製糸第3回卒、昭和3年教授、現在日本学術会議会員、63才。学部多端の折からその手腕が期待される。

お 願 い

。会費納入について

本年度会費未納の方は、千曲会の運営を円滑にするために至急納入下さい。

。50周年記念事業拠金について

拠金申込みも逐次ありますが、更に一層の御支援を賜わりますようお願い申し上げます。

須田圭二先生退官記念会決算報告

上記記念会は2月10日発足し、その趣旨の公表とご拠金依頼方を75号本紙上に掲載しましたところ、多数会員のご賛同をえ、多額の申込がありましたことは、須田先生の人徳のしからしむるところでございまして、またわれわれ発起人といたしまして、もよろびにたえず、かつは御礼を申しあげるしだいでございます。7月10日をもって本会は一応その事務を終了いたし、12日には先生をお迎えいたし、記念金の贈呈、懇談会などを母校会議室にて挙行いたしました。同日は蒲生、倉沢両先生もわざわざ参会され、校内関係者をあわせ、約30名の方が列席されました。

須田先生はますますカクシヤクとして、文献の整理等に没頭されており、皆様によりしくとのことでありますので、ここにあわせて報告いたしておきます。



記念金贈呈式風景
八木先生より須田先生へ

記	
収入	40,600円
支出	1,573
内記	400 取扱者手数料
	873 通信費
	300 雑費
差引	39,027円 以上
(上記金額は先生の希望により現金にてさしあげました)	
昭和33年7月12日	
発起人代表 八木 誠政	

本 会 日 誌

- 7月5日 北陸支会長新野武雄氏 記念事業募金のことについて来談
- 7月12日 須田圭二先生退官記念金贈呈式
- 7月19日 三陽支会長江野村一雄氏 記念事業募金打合せのため来談
上小支会新役員会開催され、学内理事顧問全員出席
- 7月21日 竜川支会総会開催され本部から町田理事出席
- 8月3日 愛媛支会総会開催され本部から田口理事出席

須田圭二先生
退官記念品代
(締切後の納入者)

金 600円	鈴木正一郎(蚕22)
金 500円	小出権五郎(〃)
金 300円	北条 舒正(化1)
金 200円	大平 敏彦(学内職員)
	小林 尚一(紡8)
	遠藤 恒久(〃20)
小計 金	2,000円

蒲生俊興先生
退官記念品代
(8月5日現在)

金 1,000円	矢 野 進(蚕25)
	星野 弘弘(糸16)
	石原 石司(蚕8)
金 600円	西沢 良一(蚕21)
金 500円	清水 衛敏(蚕11)
	小平 耕平(蚕19)
	原 茂(蚕13)
金 300円	柳沢 新一(蚕31)
金 200円	大井 正夫(糸20)
	塚 本 優(蚕21)
小計金	5,800円
累計金	7,900円

倉沢美徳先生
退官記念品代
(8月5日現在)

金 1,000円	星野 弘弘(糸16)
	石原 石司(蚕8)
	矢 野 進(蚕25)
金 600円	西沢 良一(蚕21)
金 500円	清水 衛敏(蚕11)
	小平 耕平(蚕19)
	原 茂(蚕13)
金 300円	柳沢 新一(蚕31)
金 200円	大井 正夫(糸20)
	塚 本 優(蚕21)
	北 村 宏(学化1)
小計金	6,000円
累計金	8,200円

蒲生俊興
倉沢美徳
両先生退官記念品贈呈
資金募集中

本会報 No.79誌上にてお知らせしましたように、表記資金を次の要領で募集中であります。
千曲会員各位には、御趣旨賛同の上応分の御出資を賜りますようお願い申し上げます。

釀 金 要 領

- 1 釀出金 1口 200円 口数は自由、必ず両先生別に明記のこと。
- 2 送金宛先当学部千曲会内蒲生・倉沢両先生退官記念会(振替口座東京43341)
- 3 締切 昭和33年11月30日

50 周年記念事業納入金額

個人納入分

2,000円	篠田平三郎(蚕1)	計	14,000円
1,000 "	小 林 寛(学蚕2)		
10,000円	中川 三郎(蚕8)	1,000 "	市川 文夫(学蚕2)

50周年記念事業醸金申込者及び申込金額

1) 繊維学部内会員

20,000円	林 貞 三(糸3)	5,000円	古平 福紀(蚕29)	7,600円	山崎 常録(糸19)
20,000 "	八木 誠政(蚕2)	6,700 "	坂口 育三(蚕22)	2,400 "	矢彦沢清充(学化1)
10,000 "	野口新太郎(紡2)	3,200 "	桜井 善雄(蚕35)	3,000 "	柳沢 幸男(農4)
10,000 "	萩原 清治(糸12)	7,100 "	白井 美明(糸20)	5,300 "	柳沢 連子(農6)
9,000 "	田口 亮平(蚕17)	1,500 "	清水 隆三(学蚕5)	7,000 "	若林 茂一(蚕12)
8,000 "	中 島 退(糸16)	1,700 "	篠 原 昭(学糸2)		
6,000 "	北条 舒正(化1)	6,200 "	関 博 夫(蚕23)	2) 福井支会	
8,000 "	町 田 博(蚕21)	1,500 "	竹 原 昭(学化4)	4,000円	坂田 栄雄(蚕2)
10,000 "	山口定次郎(蚕12)	6,100 "	竹 田 寛(蚕24)	4,000 "	高品喜一郎(紡4)
9,000 "	小林 尚一(紡8)	3,200 "	田中 一行(蚕35)	4,000 "	和田 貞政(紡10)
3,800 "	青 沼 茂(糸33)	3,200 "	田中 茂光(農2)	3,500 "	森 剛 夫(糸21)
3,400 "	一之瀬国興(紡26)	3,600 "	土屋 幾雄(紡26)	3,000 "	西原 美登(糸24)
3,800 "	今井甲子男(化4)	3,800 "	中 原 武(蚕33)	3,000 "	原口惣一郎(糸25)
4,500 "	石 川 博(糸32)	3,000 "	西山 久雄(蚕36)	2,000 "	加藤 敏雄(紡25)
3,100 "	池田 忠夫(化6)	2,400 "	西村 善次(蚕38)	2,000 "	清水 孝晏(紡26)
4,900 "	遠藤 恒久(紡20)	1,500 "	野沢 潤子(学糸5)	2,000 "	桜井 利雄(紡26)
3,000 "	押金 健吾(蚕35)	1,600 "	降旗 剛寛(学蚕3)	1,700 "	工藤 五雄(蚕36)
10,000 "	小泉 清明(蚕12)	1,700 "	松橋 房江(学紡2)	1,000 "	上野 毎夫(学紡3)
5,500 "	小山 長雄(蚕26)	5,700 "	松尾 卓見(蚕28)	1,000 "	月 岡 弘(学化2)
2,000 "	小 山 定(糸別2)	3,000 "	美斉津利正(学紡)	3) 個人申込	
		2,300 "	三 石 賢(化9)	1,500円	市川 文夫(学蚕2)

以上申込額 計 291,000円

会 員 動 静

頁	氏 名	卒回	新 住 所
195	松 田 清	農 2	愛知県立渥美農業高校(渥美郡田原町)住所前通り
140	中 村 武雄	蚕 18	更級農業高校八幡分校(更級郡八幡村)
30	池 田 三之助	蚕 16	福島県立福島女子高校(福島市)(住)伊達郡梁川町栗野中通14
190	榎 原 鶴治郎	蚕 4	自宅 豊橋市東田町南黒福22の1
88→227	下 田 統 夫	紡 18	広島県立福山工業試験場長(福山市野上町)
195	松 田 得 治	蚕 28	愛知県教育委員会指導部学校教育課指導主事(住)前通り
203	唐 沢 郁 夫	化 2	同志社女子大学(京都市上京区烏丸今出町) (住) 京都市左京区相国寺北門前町 670の12
48→56	丸 山 泉	化 5	時事通信社浦和支局(浦和市高砂町2の48)
38→119	丸 山 いく代	糸別3	上田社(上田市日之出町)(住) 小県郡禰津村
106→109	山 岸 政 治	蚕 22	野沢北高校(野沢町)(住) 南佐久郡野沢町相生町
177	市 川 敏 三	蚕 18	恵那高校(恵那市)(住) 恵那市長島町中野
30	安 部 和	蚕 13	福島県立耶麻高校長(福島県耶麻郡山都町)
161	曾 山 高 祥	蚕 4	(旧名)直高 長野県教育公務員弘済会(住) 松本市口張町564
218→233	依 田 直 祐	学化1	東邦レーヨン・徳島工場(徳島県板野郡北野町)
187	尾 崎 輝 寿	紡 30	三共毛織KK(一宮市千歳通4丁目)

185	池内才八郎	学紡5	126	の項は抹消 愛知紡績KK名古屋工場(名古屋市西区山田町上小田井)
177	市村俊広	学蚕3		岐阜県恵那東中学校(恵那市長島町中野)
146→107	若林興孝	農1		長野県農協組中央会北佐久支部(住)北佐久郡浅間町岩村田543のロ)
104→153	佐藤憲史	学蚕3		農林省長野統計調査事務所農林統計課(長野市東鶴賀早苗町24)
108→140	友野正路	蚕16		更級農業高校(篠ノ井町)
235→232	寺島昌	蚕31		酒六KK徳島出張所所長(徳島市美馬郡脇町)
107	阿部丈夫	蚕15		白田高校長(南佐久郡白田町)
203→201	小泉仁	学化3		日室アセテートKK(滋賀県野州郡森山町)
29	柿崎泰彦	蚕29		宮城県庁農林部蚕糸課(仙台市)
123	清水忠治	学紡6		信大繊維学部農研究室研究生(住)上田市豊殿区森
165→107	足立隆夫	蚕37		春日中学校(南佐久郡春日村)
152	工藤敦男	化9		勤務先前通り(住)小県郡塩田町別所上星旅館
115→161	田中茂男	蚕36		長野県蚕業試験場松本支場(松本市旭町)
187	加藤沼二	蚕24		瀬戸市立本山中学校(瀬戸市西印所町57)(住)前通り
196	山田渡	農3		(住)愛知県丹羽郡大口村大字小口字田中
209	中川督一郎	糸28		勤務先前通り(住)大阪府池田市東市坊町31 日立社宅101号
49→78	水井寿	蚕36		片倉退社(住)東京都北区豊島8の16
206	加藤明	紡8		大日セルロイドKK繊維部(大阪市東区瓦町3丁目8)(住)前通り
125→96	一之瀬徳治	紡21		日清紡KK高岡工場(市内免186)
25→148	久保山保雄	蚕36		昭栄製糸KK須坂工場(須坂市)(住)須坂市大字須1171
165→148	神野博	化7		須坂商業高校(須坂市)
54→148	滝沢七郎	糸38		昭栄製糸KK 須坂工場(須坂市)
106→149	柳沢増治	蚕別1		須坂市役所農務課(須坂市)
149	宮下明治	学蚕5		須坂市園芸分場
57→149	矢島隆野助	糸17		昭栄製糸KK 須坂工場(須坂市)
148	佐藤久夫	—		北信陸送KK(須坂市)
230→74	西野久	蚕30		東京都江東区亀戸町6—155
192	豊田厚	学化5		改姓(旧姓手塚)(住)愛知県常滑市西阿野唐崎66
94	市川誠二	学蚕2		改姓(旧姓手塚)新潟県蚕業試験場小出支場(新潟県北魚沼郡小出町)
113→31	小林利弘	蚕35		昭栄製糸KK 福島工場(福島市太田町)
112→87	木内俊一	蚕33后		昭栄製糸 大磯蚕種製造所(神奈川県中郡大磯町高麗)
120	関谷孝	学蚕1		改姓(旧姓百瀬)昭栄製糸 上田工場(上田市)(住)上田市材木町157
				TEL 711
112→175	久保田禎治	蚕別4		自営 飯田市大字中村
117→133	長岡範子	教8		小県郡東部町大石

以上

編 集 後 記

今日は暦の上では立秋であるが、今年は例年にない暑い年であった。カラッ梅雨のために全国いたる所が水キキンに悩み、台風11号の影響で夏山をたのしんでいる人達を数日間わたって山中に閉じこめてしまったり、とかく異変つづきであったが、戦後第2の豊作と云う結びになろうとしている。

それにしても、業界の不振はその極に達したときいているが、直接タッチしていない編集子には、深刻な味がわからない。どうも日本資本主義社会のあり方の問題じゃないだろうか。業界の不振は、就職問題と密接な関連があり、学生の気持にも鋭く響いていることは疑いない。

学内は夏休ではあるが、伊藤学部長の後任者の選挙を8月20日にひかえ、多忙のようでもある。近頃本学部のグラウンドも利用者(学部外の)がふえ、都会の大学生の合宿が行われているようである。又学生軟式庭球選手権大会が上田市でひ

らかれ、本学部のコートも用いられるので、素晴らしいコートに生まれ変わった。

第81号が会員各位に届くころはすでに残暑も和らぎ、この夏の消耗が、回復されていく頃かと思う。しかしすでに上田ではコオロギのなき声に夏を惜しんで心をゆずられている者もあろう。

残暑お見舞申し上げます。

1958. 8. 8 (三石記)

編集理事 田口亮平

編集総務 小山長雄

編集部員 白井美明 一之瀬匡興 美津津利正

西山久雄 柳沢幸男 三石 賢